

## 2024年度 これからの活動予定

イベント名称	開催日時	場所
川づくりフォーラム	2025年2月予定	※詳細はホームページでご確認ください。
赤野井湾・小津袋クリーン大作戦	2025年3月9日(日) 9:00~11:00	赤野井湾小津袋一帯
水辺の楽校(春編)	2025年3月2日(日) 9:00~12:00	目田川河川公園(市立図書館横) ※詳細はホームページでご確認ください。

## 今月の詩

役目をへ  
畦に寝転ぶ案山子たち  
私縫いたる  
孫の服着て

長寿寺  
ながい参道紅葉し  
ばさつに手合わせ  
出でて見返る

ずっしりと重き  
一冊届きたり  
もはや用なき  
同窓会名簿

S・N

柿の葉が  
音なく肩に舞い落ちて  
赤き実もぎとる  
夕映えの畑

石田和正

## 各種会費・寄付がクレジットカードで決済できるようになりました！

当法人の年会費（個人2000円・団体3000円）ならびに賛助会費（一口3000円）をオンラインでクレジットカード決済ができるようになりました。また、ご寄付にもご利用いただけます。右記のQRコードより手続きに進んでいただけます。わからない場合は事務局までお問い合わせください。



豊稷年会費

豊稷寄付

## しじみのひとりごと

11月になり、ようやく暑さが和らいで秋めいてきました。今夏も猛暑で草の生育が旺盛で、守山市立図書館横の目田川でも8月25日の水辺の楽校(夏編)に草刈りをした場所が、わずか2週間後の9月8日のホテルを守ろうプロジェクトでは大変伸びており驚きましたが、その日はNPO法人ドットジェイピー関西エリアの大学生が20人程参加し、人数が多い事での成果も実感致しました。

個人で去年辺りから、野洲川の近江富士大橋から河口までの両岸のゴミ拾いをしていますが、昨秋頃に河川事務所が実施した重機での幼木踏み倒し工事によって高水敷や低水路内のゴミが発見、拾い易くなり、頑張りましたが、新庄大橋真下付近のゴミを拾う事が出来ずに草が伸び断念したのが心残りだったので、令和6年度工事では、色々な人や団体に声をかけて一緒に拾えるようにしたいです。

岡本滋直



2024年 12月 1日 発行 1,500部

世代を超えて  
継続する活動に高評価



## 人と環境のネットワーク 豊稷の郷だより

### MLGsマザーレイクルーズ2024

11月1日(金)に開催されたMLGsマザーレイクルーズ2024のつながるアワードで「大賞」をいただきました！

当法人の活動は、生物多様性や地域連携、持続可能な活動など、MLGSIにつながることも多く、続けるうち、若い世代の参加も増えてきたことなどを、3分にまとめてスピーチをしました。

会場の皆さんからは、「設立当初から関わる会員さんから、目田レンジャーのような子どもたちまで、活動がしっかり引き継がれているところが素晴らしい。」「閉鎖的な社会である現在に、地域交流や世代間の交流ができていくことに惹かれます。応援します。」などのうれしいコメントをいただきました。この賞に恥じないよう、ますます頑張ります！

また、MLGSクルーズの様子は、同放送局1月1日放送予定の「勇さんのびわ湖カンパニー」2025新春特別番組でハイライト紹介されます。発表したメンバーもゲスト出演しますので、是非ご覧ください！



発行 認定NPO法人 びわこ豊稷の郷

FAX 077-558-5007

理事長 金崎 いよ子

E-mail houjyounosato@lake-biwa.net

住所 守山市勝部5丁目10-25

URL https://lake-biwa.net/akanoi/

TEL 077-583-8686 (有線 583-8686)

## 目田レンジャーが国際交流してきたよ！

9月25日(水)守山市図書館で目田レンジャーがグローバルコースと考える持続可能な湖沼管理として国際湖沼環境委員会 (ILEC)と国際ボランティア学生協会 (IVUSA)のプログラムに参加しました。

通訳さんが間に入って目田レンジャーやホタルを守ろうプロジェクトを紹介。最初は緊張しましたが、皆さんの温かい拍手や、声かけに、だんだんいつもの笑顔が見られるようになりました。質問コーナーでは「何歳?」「この活動を続けるの?将来は環境の仕事に就くの?」と尋ねられ英語と日本語で一生懸命答える姿が印象的でした。

最後には目田レンジャーバッジをプレゼントして、ハグで別れを惜しみ、参加したメンバーは「もっと話したいから英語の勉強頑張る!」と宣言していました。

## 「ホタルを守ろうプロジェクト」参加者募集!

目田レンジャーの子どもたちが中心になって、市立図書館横河川(目田川)で河川整備活動を行っています。

今年は「水辺の楽校」のプログラムに「川づくり」を取り入れたところ、参加者からの反応がとても良く、これをきっかけに「ホタルを守ろうプロジェクト」にも参加してみたいというアンケート回答をいただきました。

学生団体からの参加申込みもいただくようになり、目田レンジャーたちは、もっともっと一緒に川づくりをしてくださる人を増やしたいと毎月の活動もがんばっています。

いちど図書館横の目田川を覗いてみてください。元気な子どもたちが、楽しそうに活動する姿が見られますよ。今後の活動日は、豊稜の郷ホームページやInstagram、Xでご確認ください!

## 今年もやりました!「まもぴかdeハロウィン」 -ホタルにやさしいランタン作りワークショップ-

今年のももぴかランタンハロウィンワークショップは、少しでもたくさんのご家族に、ゲンジボタルと光害のことを知ってもらいたいと考えて、10月19日と26日の2回の開催にしました。

参加者は、会員さん扮するワークショップ案内役のアーノルド博士から、「ホタルの目」で光が見えるサングラスをかけて、ホタルの光る仕組みや、色と強さの実験をしたり、発光の邪魔をしない、ホタルにやさしい「まもぴかランタン」作りに挑戦しました。

その後、出来上がったランタンを手に夜の「ほたるの森」を散歩しました。途中でおばけに仮装した会員さんからおやつをもらうなど、ワクワク、ドキドキのワークショップでした。参加したみなさんには、とても楽しく学んでいただけだと思います。

## 機動力は地元を愛する気持ち…

11月14日(木)環境学習プログラムづくりのヒントになればと、基盤強化プロジェクトの有志で京丹後市に先進地研修に出かけました。研修先は2022年、2023年に行った、小学校への出前授業でお世話になった、「株式会社あしあと」代表の八隅さんの作業場です。小学校の授業では海岸に打ち上げられたごみを何とかしようと奮闘される様子や、回収したペットボトルキャップを加工して作ったコースターを紹介しました。

当日は、海岸のごみ拾い、キャップの洗浄、色分け、粉碎、熱処理、成型までの体験の他、地域を巻き込んだ環境課題に対する事例を丁寧にお話ししてくださいました。

八隅さんの地元を愛する強い気持ちが伝わり、興奮しながら帰路に就きました。この研修で得た経験と知識を今後の取り組みにも生かしていきたいと思います。

## 水辺百選講座2024年 赤野井湾周辺巡り

夏休みも終わった9月7日(土)12名の参加者は赤野井湾から屋形船に乗り込みました。

湖上を走る(滑る?)と風をうけて酷暑も和らいで感じられます。当法人の水辺百選研究会のメンバーやインターンシップ学生、船頭さんの説明を聞き、琵琶湖めぐみが詰まったお弁当を頂いて暫くゆったりした気分を味わうことができました。

船内から見る周りの景色は視点が下がるので新鮮です。船を後にして今度は赤野井湾から眺めていた琵琶湖博物館へ移動。その施設の樹幹トレイルから先ほどまでいた赤野井湾を眺め雄大な風景を堪能して終了としました。

